

オーガニックビレッジ

有機農業産地づくり推進

令和6年2月

MAFF

農林水産省

2050年有機100万haの実現に向けて

令和3年5月、農林水産省では、食料、農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までに耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を25%(100万ha)に拡大することを目標としています。

オーガニックビレッジとは

「オーガニックビレッジ」とは、有機農業の拡大に向けて、ほ場の団地化などの生産から学校給食での利用など消費まで一貫した取組を、農業者、事業者、地域内外の住民などの関係者が参画の下、地域ぐるみの取組を進める市町村のことであります。

農林水産省では、令和3年度補正予算から、オーガニックビレッジの創出に向けて、みどりの食料システム戦略推進総合対策（有機農業産地づくり推進事業）により支援を行っています。

この先進的なモデル地区を全国に創出し、横展開を図っていくこととしています。



2050年有機100万haの実現に向けて

～ 全国に広がるオーガニックビレッジの環 ～



【オーガニックビレッジに取り組む市町村】

令和6年2月時点 **93市町村**

- 北海道：北海道(安平町)
- 東北：青森県(黒石市・五戸町)、岩手県(花巻市・一関市)、秋田県(大潟村)、山形県(米沢市・鶴岡市・新庄市・川西町・山形市・酒田市・高畠町)、福島県(二本松市・喜多方市)
- 関東：茨城県(常陸大宮市)、栃木県(小山市・市貝町・塩谷町)、群馬県(甘楽町・高山村)、埼玉県(小川町)、千葉県(木更津市・佐倉市・神崎町)、神奈川県(相模原市・小田原市)、山梨県(北杜市)、長野県(辰野町・松川町・飯田市・飯綱町)、静岡県(掛川市・藤枝市・山根本町)
- 北陸：新潟県(佐渡市・新発田市)、富山県(南砺市・富山市)、石川県(珠洲市・羽咋市)、福井県(越前市)
- 東海：岐阜県(白川町)、愛知県(東郷町・南知多町・岡崎市)、三重県(尾鷲市・名張市・伊賀市)
- 近畿：滋賀県(甲賀市)、京都府(亀岡市)、大阪府(堺市)、兵庫県(豊岡市・丹波篠山市・養父市・丹波市・淡路市・神戸市・朝来市・加東市・上郡町)、奈良県(宇陀市・天理市)、和歌山県(かつらぎ町)
- 中国四国：鳥取県(日南町)、島根県(浜田市・大田市・邑南町・吉賀町・江津市)、岡山県(和気町)、広島県(神石高原町)、山口県(長門市)、徳島県(小松島市・海陽町)、香川県(三豊市)、愛媛県(今治市)、高知県(馬路村)
- 九州：福岡県(うきは市)、長崎県(南島原市)、熊本県(南阿蘇村・山都町)、大分県(佐伯市・臼杵市・豊後高田市)、宮崎県(綾町・高鍋町・木城町・えびの市)、鹿児島県(南さつま市・湧水町・南種子町・徳之島町)

※令和5年度新規は下線

各地域におけるオーガニックビレッジの取組事例

2022年度から開始

2023年度から開始

※ 記載内容は計画段階の取組を含む

北海道
北海道 安平町

東北
青森県 黒石市・五戸町
岩手県 花巻市・一関市
秋田県 大潟村
山形県 米沢市・鶴岡市・新庄市・川西町・山形市・酒田市・高島町
福島県 二本松市・喜多方市

北陸
新潟県 佐渡市・新発田市
富山県 南砺市・富山市
石川県 珠洲市・羽咋市
福井県 越前市

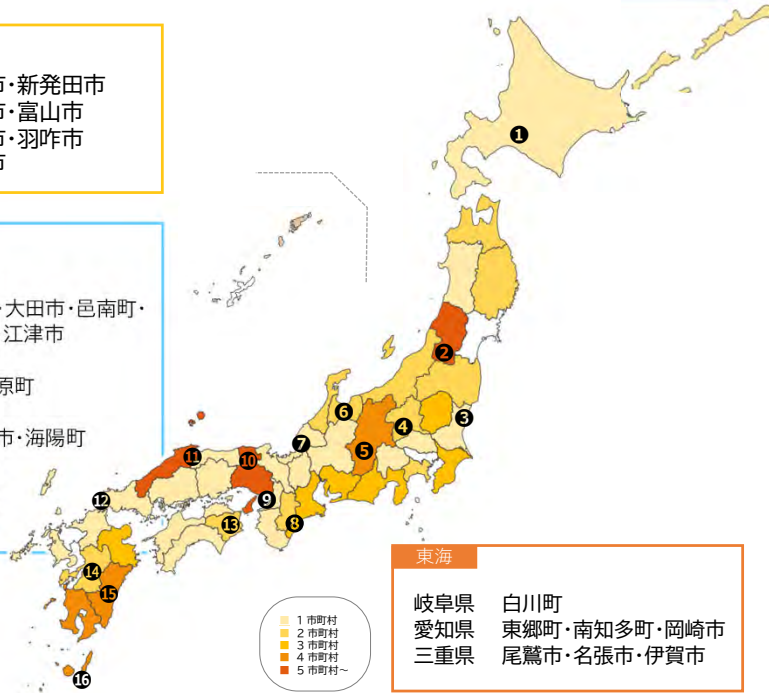
中国・四国
鳥取県 日南町
島根県 浜田市・大田市・邑南町・吉賀町・江津市
岡山県 和気町
広島県 神石高原町
山口県 長門市
徳島県 小松島市・海陽町
香川県 三豊市
愛媛県 今治市
高知県 馬路村

九州
福岡県 うきは市
長崎県 南島原市
熊本県 南阿蘇村・山都町
大分県 佐伯市・臼杵市・豊後高田市
宮崎県 綾町・高鍋町・木城町・えびの市
鹿児島県 南さつま市・湧水町・南種子町・徳之島町

関東甲信・静岡
茨城県 常陸大宮市
栃木県 小山市・市貝町・塩谷町
群馬県 甘楽町・高山村
埼玉県 小川町
千葉県 木更津市・佐倉市・神崎町
神奈川県 相模原市・小田原市
山梨県 北杜市
長野県 辰野町・松川町・飯田市・飯綱町
静岡県 掛川市・藤枝市・川根本町

東海
岐阜県 白川町
愛知県 東郷町・南知多町・岡崎市
三重県 尾鷲市・名張市・伊賀市

近畿
滋賀県 甲賀市
京都府 亀岡市
大阪府 堺市
兵庫県 豊岡市・丹波篠山市・養父市・丹波市・淡路市・神戸市・朝来市・加東市・上郡町
奈良県 宇陀市・天理市
和歌山県 かつらぎ町



1 北海道安平町 面積 給食・加工
販路拡大に向けた加工品の開発!
 有機大豆を使用した有機味噌の商品開発を行い、新たな販路拡大につなげるとともに、学校給食での利用に取り組む。

3 茨城県常陸大宮市 面積 給食・加工
ほ場の団地化による効率的な生産!
 特定区域の設定地区で、有機稲・野菜の大規模なほ場団地化を進めるとともに、有機野菜・米粉を使用した加工品や学校給食に導入する米粉パンの開発などに取り組む。

5 長野県松川町 給食・加工
有機農業を通じた農地の継承!
 遊休農地を活用し生産した有機米や有機野菜の給食での利用拡大、有機の土づくりによるりんごやなしの試験栽培等を行い次世代への農地継承に取り組む。

7 福井県越前市 面積 給食・加工 スマート
スマート農業を活用した大規模化!
 データに基づく有機栽培技術の実践や除草作業を中心とした省力化機械(水田除草機)の導入等により、地域全体で有機農業に取り組みやすい体制を整備し、大幅な面積拡大を目指す。

9 大阪府堺市 スマート
地域資源を活用した都市農業の挑戦!
 地域資源である市内畜産農家の牛糞堆肥を地域内で活用促進することで、化学肥料を低減し、環境負荷を軽減した農業への転換を促進させ、堺産農産物「堺のめぐみ」などブランド力強化等に取り組む。

11 鳥取県日南町 面積 給食・加工 スマート
0haから有機農業の産地化に挑戦!
 中山間地域のモデルとなる持続可能な産地形成を目指し、農機メーカーと連携したスマート農機(水田除草機等)の導入や販路拡大による農業所得の向上を目指す。

13 徳島県小松島市 面積 給食・加工 人材育成
有機農業が実践しやすい地域づくり!
 次世代有機農業技術者育成研修を行う有機農業サポートセンターにおける有機栽培への転換や新規就農に取り組む農業者への技術面でのサポートに加えて、学校給食の利用による販路確保や有機米のブランド化による付加価値向上に取り組む。

15 宮崎県綾町 給食・加工 スマート 人材育成
有機農業を学べる学校を開校!
 栽培技術から経営まで学べる「綾オーガニックスクール」を創設し新規就農者の受入体制を整備するとともに、ラジコン除草機の導入による省力化、学校給食の導入に向けた仕組みの検討などに取り組む。

2 山形県川西町 面積 給食・加工
有機農業に参入しやすい環境づくり!
 有機栽培における太陽熱土壌消毒の導入など作業効率化に向けた技術の導入や枝豆・紅大豆などの新たな栽培品目の追加のほか、規格外の枝豆を活用した商品開発などに取り組む。

4 群馬県甘楽町 給食・加工 人材育成
甘楽町有機農業サポーターの取組!
 学校給食の利用拡大の他、新規就農者への研修体制や繁忙期の労働力の確保などのサポート体制を構築するとともに、地域内の遊休農地を活用した有機オーリーブ等の生産拡大に取り組む。

6 富山県富山市 面積 給食・加工 スマート
付加価値の高い有機加工品の開発!
 地域特産物のエゴマの有機栽培への転換や有機エゴマ油の開発、アイガモロボット導入による生産拡大、有機日本酒の製造等に取り組む。

8 三重県尾鷲市 給食・加工 スマート 人材育成
有機果樹の生産拡大に取り組む!
 地域特産の甘夏や地域で生産されていない新たな果樹について、収量や品質の向上に向けた栽培技術を確立し、農業者の所得向上につなげるとともに、学校給食での利用や有機農業サミットの開催等を通じて地域一体となった取組を展開。

10 兵庫県豊岡市 面積 給食・加工 スマート
新たなコウノトリ育む農法への進化!
 イオン水発生装置など新たな除草技術の導入実証を行うとともに、現行農法の再検証を行い、新たなコウノトリ育む農法の層を検討するほか、学校給食での利用拡大に取り組む。

12 山口県長門市 給食・加工
有機ブロッコリーの生産・消費拡大!
 周年を通じた育苗体制の整備や3シーズン(夏期・秋期・冬期)に対応した品種や管理技術の確立を進めることで面積拡大を図るとともに、学校給食での利用に向けた献立開発、食育などに取り組む。

14 熊本県山都町 給食・加工 人材育成
誰もが有機農業に取り組める体制へ!
 山都町有機農業サポートセンターを設置し、技術指導から有機JASの取得、販路確保まで有機農業を総合的に支援を行う体制を整備し、新たな人材育成に取り組む。

16 鹿児島県南種子町 給食・加工 スマート
生産の効率化による有機農業の拡大!
 遊休農地を利用した有機農業の拡大、スマート農機の導入による生産の効率化、学校給食における有機野菜の利用拡大に取り組む。

面積 : 10ha以上の面積拡大が目標 **スマート** : スマート農機の利用や省力化機械の導入
給食・加工 : 有機農産物の給食・加工品の商品開発・販売 **人材育成** : 学べる環境を整備

～創意工夫により、地域振興に有機農業を導入～

オーガニックビレッジ に取り組むトップランナー

※掲載の希望があった市町村を掲載しております。(令和5年12月12日現在)

北海道安平町
おひかわ しやういちろう 町長
及川 修一郎 町長

環境にやさしいまちづくりの一環として、有機農業の推進に取り組む方々の活動を支援します。

青森県黒石市
たかの ひろと 高橋 憲 市長

「有機の郷くろいし」を目指し、誰もが有機農業に取り組むことができる環境づくりを進めます。

青森県五戸町
わがみや けいいち 若宮 佳一 町長

地域内の資源を循環利用し、環境にやさしい農畜産物の確立に取り組んでいます。

岩手県一関市
たけもと よしと 佐藤 善仁 市長

豊かな自然を活かし、地域ぐるみで有機農業の推進から消費まで一貫して取り組み、持続的発展を目指します。

秋田県大潟村
たかの ひろと 高橋 浩人 村長

自然環境を生かした消費者との交流など、有機農産物の認知度の向上と需要拡大に取り組めます。

山形県山形市
たかの ひろと 佐藤 孝弘 市長

有機農業の産地づくりを進めるとともに、子供たちの食育及び有機農産物の消費拡大に取り組めます。

山形県鶴岡市
あきかわ おさむ 皆川 治 市長

有機農業やJA、流通事業者などの関係者が一丸となり、有機農業の拡大に取り組めます。

山形県高畠町
たかの ひろと 高梨 忠博 町長

有機農業に取り組んで50年。新たな時代に再生し、地域の活性化をもたらすよう、力を入れています。

山形県川西町
はらたけ しんじ 原田 俊二 町長

農業高校と連携した次世代の担い手確保など、有機農業に参入しやすい環境づくりを進めます。

福島県喜多市
えんどう ちやういち 遠藤 忠一 市長

みんなで力を合わせ、有機農業の復興・創生を着実に進め、カーボンニュートラルの実現を目指します。

福島県二本松市
みほ けいいち 三保 恵一 市長

有機農業を志す新規就農者の受け皿づくりを推進し、市の持続可能な農業を確立します。

茨城県常陸大宮市
すずき さださき 鈴木 定幸 市長

「子供達に最高の給食を届けたい！」この思いからオーガニック給食実現に向けた有機農業を推進します。

栃木県小山市
あきの まさとし 浅野 正富 市長

「田園環境都市おやま」の創出に向けて、コウノトリと共生できる農業に取り組めます。

栃木県市貝町
いりの まさあき 入野 正明 町長

サンバが舞う里地里山で有機農業を推進し、環境と経済が循環するまちづくりを進めます。

栃木県塩谷町
あみた かずひさ 見村 和久 町長

生態系の保全と経済活動を両立し、持続可能な豊かな町の創出に取り組めます。

群馬県甘楽町
しげはら しやういち 茂原 荘一 町長

未来を担う子どもたちへの食育をはじめ、日々のくらしに溶け込む有機農業を推進し、次代へ継承します。

群馬県高山村
ごとう こうぞう 後藤 幸三 村長

村の豊かな自然環境を次世代へつなげるため、村全体で有機農業の推進や認知度向上に取り組めます。

埼玉県小川町
しまた かつひろ 島田 康弘 町長

有機農業実施計画の実現に向けた取組を実践し、有機農業のさらなる拡大を推進します。

千葉県木更津市
くによし くにこ 渡辺 邦芳 市長

学校給食米100%オーガニック化を軸に、環境保全型農業(有機農業)を推進します。

千葉県佐倉市
きたたけ きんご 西田 三五 市長

販路拡大や関係者間のネットワーク構築により、有機農業の仕組みづくりを環境を整備します。

神奈川県相模原市
もとむら けんたろう 本村 賢太郎 市長

農業者や関係事業者、地域が一体となって取り組む有機農業の仕組みづくりを目指し取組を進めてまいります。

山梨県北杜市
かみむら えいし 上村 英司 市長

自然環境にやさしい有機農業の拡大を目指し、生産技術の向上、販路拡大、食育など幅広い取組を推進します。

長野県辰野町
たけの やすお 武居 保男 町長

有機農業及び環境にやさしい農業の生産者確保、栽培促進に尽力し町が一体となり有機農業推進に取り組めます。

長野県松川町
きたむら ひでみ 北沢 秀公 町長

子供たちの健全な成長と遊休農地の解消に向けて、有機農業の取組を加速します。

長野県飯綱町
みむら かつむね 峯村 勝盛 町長

学校給食を軸に生産・流通・販売モデルを確立し、地域が参入しやすい有機農産地づくりを目指します。

静岡県掛川市
くぼた たかし 久保田 崇 市長

主要作物である茶を中心に、有機農業を拡大し、地域農業や環境の保全を推進します。

静岡県藤枝市
きたむら しやうへい 北村 正平 市長

学校給食への有機食材の提供を通じ、子供達に地域農業や環境の大切さを伝える有機農業を展開します。

新潟県新発田市
あかいだう かおる 二階堂 馨 市長

有機米の産地形成を進め、高付加価値化による農家所得の向上と持続可能な農業の実現を図ります。

新潟県佐渡市
わたなべ りゅうご 渡辺 竜五 市長

人と自然との共生を意識し、有機農業による島内の経済循環の仕組みづくりを進めます。

富山県南砺市
たなか みさお 田中 幹夫 市長

地域、人、ネットワーク、機運、仕組みづくりの4本柱の好循環を図り、持続可能な農業を展開していきます。

石川県珠洲市
いずみや ますひろ 泉谷 満寿裕 市長

環境にやさしい有機農業を推進し、トキ放鳥の実現と自然と共生する持続可能なまちづくりを目指します。

石川県羽咋市
あし ひろみち 岸 博一 市長

トキが再び舞う里山を目指し、自然栽培農業を中心とした有機農業産地づくりを推進します。

福井県越前市
やまだ けんいち 山田 賢一 市長

コウノトリ呼び戻す農法とスマート技術を駆使し、規模感のある有機農業の推進と産地化を目指します。

岐阜県白川町
なかにし まさたか 佐伯 正貴 町長

有機農産物の流通方法の見直し、加工品の開発など、有機農産物の販路拡大に取り組めます。

愛知県岡崎市
なかにし やすひろ 中根 康浩 市長

家康公誕生の地として、江戸のまちのシステムを活かした有機農業産地づくりを目指し、食・環境・産業の好循環を実現します。

愛知県東郷町
いまだ けんじ 井俣 憲治 町長

有機農業で農家の皆様への所得拡大。GIGA世代の子ども達に生物多様性をもたらす恵みとリアルを。

愛知県南知多町
いしかわ かつひろ 石黒 和彦 町長

持続的で環境負荷の低い農業として有機農業を推進するため、有機農業者を育成していきます。

三重県尾鷲市
おのの かつひろ 加藤 千速 市長

環境に配慮した有機農業を取り入れ、高付加価値化による農業者の所得向上につなげていきます。

滋賀県甲賀市
いしかわ かつひろ 岩永 裕貴 市長

持続可能な茶の産地として知名度アップを目指し、オーガニック茶の生産拡大に取り組めます。



京都府亀岡市
桂川 孝裕 市長
「世界に誇れる環境先進都市へ」をテーマに、自然と共生するエコ農業として有機農業の拡大を目指します。



大阪府堺市
永藤 英機 市長
市内で生産された牛糞堆肥の利用を促進し、地域資源を活用した持続可能な都市農業の振興をめざします。



兵庫県豊岡市
関寛 久仁郎 市長
コウノトリ育む農法を地域全体に拡大し、住民が地域農業に誇りを持つよう、さらに推進します。



山口県長門市
江原 達也 市長
企業との提携協定により、農業の活性化をおとした経済や地域社会の発展を目指します。




徳島県小松島市
中山 俊雄 市長
平成22年から培ってきた生物多様性農業の経験を活かして、自然豊かな小松島の農業拡大に取り組みます。



徳島県海陽町
三浦 茂貴 町長
儲かる農業を目指します。




兵庫県丹波篠山市
酒井 隆明 市長
農都宣言のまち丹波篠山で有機農業を広め、世界に誇れる環境創造型農業推進のまち・持続可能な農村を目指します。



兵庫県養父市
広瀬 栄 市長
地域のブランド和牛である「但馬牛」と連携した資源循環型農業により有機農業の拡大を進めます。



兵庫県丹波市
林 時彦 市長
有機農産物のブランド化や認知度向上を図り、持続可能な産業としての有機農業を目指します。



香川県三豊市
山下 昭史 市長
農業経営の選択肢の一つとして有機農業を選ぶ環境づくりを支援していきます。



愛媛県今治市
徳永 繁樹 市長
伝統と地域特性を活かした、オンリーワンの新たな有機農業振興策を展開してまいります。



高知県馬路村
山崎 出 村長
有機農業面積率日本一の村として、地域ぐるみで継続して取り組み、安全でおいしい商品づくりを続けます。



兵庫県朝来市
藤岡 勇 市長
有機農産物の生産から消費までの循環体制が確立できるよう、更に持続可能な有機農業の推進に取り組みます。



兵庫県淡路市
門 康彦 市長
地域の有機資源の利用やブランド化、消費者への理解醸成による産地づくりに取り組みます。



兵庫県加東市
岩根 正 市長
次世代を担う子どもたちに誇れる有機農業に、勇気（有機）を振り絞り総力をあげて取り組みます。



福岡県うきは市
高木 典雄 市長
農作業負担の軽減と環境に配慮した農業の両立を実現します。



長崎県南島原市
松本 政博 市長
南島原の肥沃な大地を活かしたオーガニック農業の普及、推進に取り組みしていきます。



熊本県南阿蘇村
吉良 清一 村長
高冷地の特色を活かした有機農業の展開により環境に優しい農業の拡大に取り組みます。



兵庫県上郡町
梅田 修作 町長
「子どもと自然環境をより大切に」をテーマに、有機農業の推進と食育との連携を進めます。




奈良県天理市
並河 健 市長
放棄地は、農業等が扱けた有機栽培の適地という逆転の発想で、中山間地域の循環型農業モデルを創ります。




奈良県宇陀市
金剛 一智 市長
大和高原の恵まれた気候を活かした有機農産物の生産と新たなオーガニックや規格外品の活用に取り組みます。



熊本県山都町
梅田 穰 町長
有機JAS認証数が全国最多を誇る「全国No.1のまち」として、有機の魅力を広げていきます。



大分県佐伯市
田中 利明 市長
経済・社会・環境に配慮し、そのすべてが調和した「さいきオーガニックンティ」の実現を目指します。



大分県白杵市
中野 五郎 市長
独自認証「ほんまもん農産物」の推進により、「有機の里づくり」に取り組みます。



和歌山県かつらぎ町
中阪 雅則 町長
有機農業の拡大、後継者の育成を進め、かつらぎ町の有機農業を支援します。



鳥取県日南町
中村 英明 町長
中山間地域における有機農業のモデルとなるSDGs・持続可能な産地形成を目指します。




鳥根県浜田市
久保田 章市 市長
豊かな海、里山を未来の子どもたちへ繋ぐため、持続可能なオーガニックビレッジを作ります。



宮崎県えびの市
村岡 隆明 市長
自然豊かなえびの市で有機農業の推進に取り組み方々の活動を支援します。



宮崎県綾町
松本 俊二 町長
自然生態系農業を推進し、環境に配慮した生産に取り組み有機農業者の育成や有機給食の実施などに取り組みます。



宮崎県高鍋町
黒木 敏之 町長
木城町とともに、2町全体で有機農業に取り組みやすい環境づくりに取り組みます。



鳥根県大田市
楯野 弘和 市長
有機米のブランド化や企業との連携など、持続可能な有機産地の育成に向けた取組を行います。



鳥根県江津市
中村 中 市長
子どもたちの未来のために豊かな自然環境と安全安心な食の確保を目指し、有機農業を推進していきます。



鳥根県邑南町
石橋 良治 町長
農業者を始め、地域内外の消費者を巻き込んで、有機農業の取組を加速化します。




宮崎県木城町
半渡 英俊 町長
高鍋町とともに、2町全体で有機農業に取り組みやすい環境づくりに取り組みます。



鹿児島県南さつま市
本坊 輝雄 市長
有機農業の担い手育成や次代を支える子供たちへの有機農業への理解醸成に取り組みます。



鹿児島県湧水町
池上 滝一 町長
有機アーモンドの生産拡大など地域の特色ある有機農業の拡大を進めてまいります。



鳥根県吉賀町
岩本 一巳 町長
有機農業の生産、流通、消費の強化を行うことで活力ある産地づくりを目指します。



岡山県和気町
太田 啓輔 町長
環境に配慮した農業の普及を目指すとともに、高付加価値の作物を生産し、稼げる農業の仕組みを構築します。



広島県神石高原町
入江 嘉則 町長
豊かな自然と、情熱あふれる農家が栽培する神石高原町の有機農産物を、全国に発信していきます。



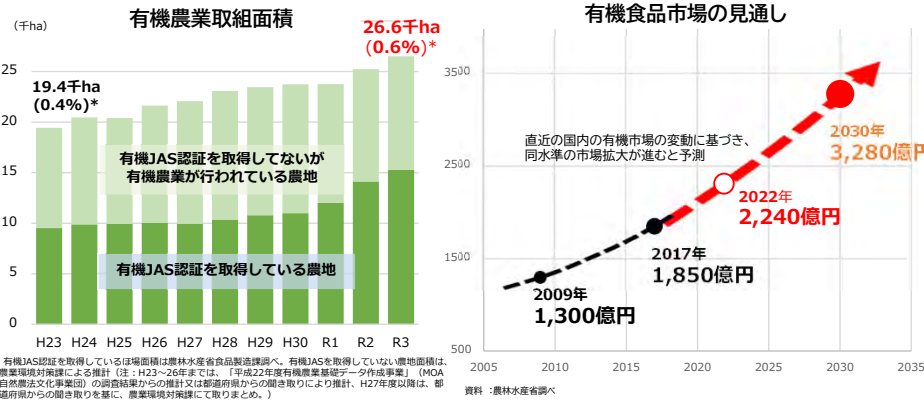
鹿児島県南種子町
小園 裕康 町長
地域の有機資源を活用したオーガニックな町づくりに取り組みます。



鹿児島県徳之島町
高岡 秀規 町長
有機ばれいしよの生産拡大を始め、島内住人の理解醸成などに取り組みます。

日本の有機農業の現状と見通し

- 日本の有機農業の取組面積は拡大傾向にあり、特に有機JASは10年で6割拡大している。総面積は、令和3年度に耕地面積の0.6% (26.6千ha) という状況。
- 有機食品市場は拡大傾向にあり、関係事業者の参入意欲も高い。



みどりの食料システム戦略推進交付金のうち 有機農業産地づくり推進

有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者・事業者・地域内外の住民を巻きこんで推進する取組の試行や体制づくりを推進します

- 事業要件 有機農業産地の実現に向けた取組を実践するための有機農業実施計画を策定すること

実施主体

市町村、又は市町村を構成員に含む協議会

(複数の市町村が参画する協議会が事業を実施する場合、有機農業実施計画の策定を行う市町村を特定すること)

市町村	農業者・団体	都道府県
商工団体	経済団体	農業協同組合
民間企業	NPO	教育機関
地域住民団体	各種団体	その他

○ 補助率 定額 ※機械リースのみ補助率1/2以内

最大3か年を支援

有機農業実施計画の策定 (検討会の開催・試行的な取組の実施)

実施計画の実現に向けた取組の実践

事業期間は原則1年以内

実施期間は2年以内 (民間資金を活用した取組を行っている場合1年延長)

自立へ

1年目 2年目 3年目

○ 事業の取組イメージ

検討会の開催

- ✓ 農業者、事業者、地域内外の消費者、専門家等からの意見の聴取等
- ✓ 地域の状況に関する調査
- ✓ 専門家による指導
- ✓ 先進地区の視察

試行的取組の実施

- ✓ 生産、加工、流通及び消費の各段階における試行的な取組等を実施

有機農業実施計画 策定・周知 (事業開始年度の翌年度の4月までに都道府県に提出)

オーガニックビレッジ宣言

実施計画に基づく取組の実施

暫定段階の取組推進体制づくり (検討会の開催、取組の実践、調査等)

実施計画に基づく取組の定着

有機農業の取組拡大・計画の実現

詳しくは農林水産省「オーガニックビレッジのページ」へ →

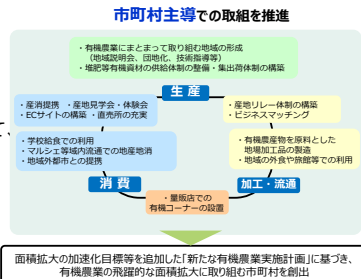
有機農業関連予算

1. みどりの食料システム戦略推進総合対策 [令和6年度予算概算決定額 650 (696) 百万円の内数] (令和5年度補正予算額 2,706百万円の内数)

地域ぐるみのモデル的先進地区を創出するとともに、関係者の行動変容と相互連携を促す環境づくりを支援

(1) モデル的先進地区の創出

地域ぐるみで有機農業に取り組む市町村等の取組を推進するため、有機農業の生産から消費まで一貫し、農業者のみならず事業者や地域内外の住民を巻きこんで推進する取組の試行や体制づくりについて、物流の効率化や販路拡大等の取組と一体的に支援することに加え、取組面積の飛躍的な拡大に取り組む産地を支援



(2) 有機農業への転換推進

新たに有機農業への転換等を実施する農業者に対して有機種苗の購入や土づくりなど有機農業の生産を開始するにあたって必要な経費を支援

対象者：新規就農者、慣行栽培から転換に取り組む農業者
対象農地：転換初年度となる農地
交付単価：20,000円/10a以内

取組の低下、生産コストの増加等 有機農業を始めるには課題が多い

慣行から有機農業への転換を推進

(3) 人材育成や需要喚起等を通じた現場の取組の推進

- 有機農業の拡大に向けた現場の取組を推進するため、
- 1 有機農業指導員の育成・確保
 - 2 有機栽培のノウハウを提供する民間団体の指導活動や、農業者の技術習得等による人材育成
 - 3 農業者等による有機農産物の安定供給体制の構築
 - 4 国産原料を使用した有機加工食品の生産・取扱拡大の取組
 - 5 事業者と連携して行う需要喚起の取組 等を支援



(4) グリーンな栽培体系への転換サポート

それぞれの産地に適した「環境にやさしい栽培技術」と「省力化に資する先端技術等」を取り入れた「グリーンな栽培体系」への転換を推進するため、産地に適した技術を検証し、定着を図る取組を支援

1. グリーンな栽培体系への転換

- 産地に適した「環境にやさしい栽培技術」、「省力化に資する先端技術等」の検証

化学農薬低減 + 有機農業 + 省力化

化学肥料低減 + 温室効果ガス削減

- グリーンな栽培マニュアル、産地戦略（ロードマップ）の策定

2. 都道府県域への展開

展開先産地等における検討会、研修会、実演会、展示園場の設置等

グリーンな栽培体系の都道府県域への展開

2. 環境保全型農業直接支払交付金

[令和6年度予算概算決定額 2,641 (2,650) 百万円]

農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、地球温暖化防止や生物多様性保全等に効果の高い農業生産活動を支援

【有機農業の交付単価】

国際水準の有機農業を実施していることが要件となります。
※有機JAS認証取得を求めものではありません。

- そば等の雑穀・飼料作物以外：12,000円/10a
- ※炭素貯留効果の高い有機農業を実施する場合[※]に限り、2,000円を加算。
※土壌診断を実施するとともに、堆肥の施用、カバー作物、マルチング、草生栽培のいずれかを実施していただきます。
- そば等の雑穀・飼料作物：3,000円/10a

【取組拡大加算】 ※活動によって増加した新規取組面積に応じた支援となります。

有機農業の新規取組者の受入れ・定着に向けた活動を行う農業者団体を支援

<交付単価> 4,000円/10a

本制度は予算の範囲内で交付金を交付する仕組みです。申請額の全額が交付金として上乗せされ、交付金が減額されることはありません。

発行：農林水産省 農産局 農産政策部 農業環境対策課

住所：〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

電話：03-3502-8111（代表）

03-6744-2114（直通）

ホームページURL：<http://www.maff.go.jp>（農林水産省HP）